

# 令和元年度決算審査特別委員会質疑

## 農業振興費

次世代農業推進事業  
購入助成の成果は



GPS田植え機等への助成効果として、見込まれていた成果があったのか

答 農家個々の営農方法はさまざまで、効果の見込み予想は難しいが、単年度ではなく、継続していくことによつてその効果が大きくなっていくものと思われる。

## 林業振興費

有害鳥獣駆除対策事業  
捕獲調査の結果は



箱わなデータ分析や生息調査の実施で、どのようなことを把握できたのか

答 カメラの設置で、アライグマが全地域に生息しているのがわかった。311頭捕獲し、雌雄の比率は半々くらいであった。

## 観光振興費

観光PR推進事業  
ライブ配信の成果は



終着駅ユーザー・ライブ配信の成果は

答 チャンネル登録数が2120人で、総視聴回数は78万9千回であり、PRに効果があった。

## 地場産業振興費

奈良県・十津川村三者協定PR事業  
アンテナショップ等での販促は



農産物の販促に対して、直売所やアンテナショップ等の考

答 直売所設置には側面的な支援をしている。定期的に7月から9月になるが、道内のイベントにも出店し、販売促進を行っている。

## 教育振興費

外国青年招致事業  
外国語指導助手の増員効果は



外国語指導助手増員による授業などでの効果は

答 2人体制になったことで柔軟性をもつて対応でき、効果的に授業を進めている。小学校3・4年生と一般向け英会話教室も継続して開催している。

## 社会教育費

体験学習推進事業  
体験学習による児童の変化は



「通学合宿」参加後、規則正しい生活習慣が定着したかどうか

答 振り返り会やアンケートを行つて確認している。児童が親元を離れて家事や身の回りのことを自発的にする体験から「良い変化がみられた」との回答が多い。

下水道施設維持管理事務  
非常時での稼働は



2年前のブラックアウトの経験から、非常用発電機の設置状況は

答 非常時、電源のない個所が数カ所ある。国土交通省からは、非常時の電源設置を要請されているが、現在検討している最中である。

## 決算審査意見書 (抜粋)

### 町税等の収納率を評価!

住民福祉の向上を  
最優先に!

収入及び支出は、いずれも合法的に行われており、一時的な資金不足も発生せず、実質収支においても、黒字を達成している。

また、町税等の収納率は、引き続き高い数値を維持しており、特に、個人町民税の収納率が100%、公営住宅使用料においても、現年度分の収納率は99.72%と高い数値を示している。

一方で、滞納繰越額の収納率は、前年から向上したものの、町税は20.93%、公営住宅使用

料においては16.62%と低く、収入未済額は昨年から減少したが、ほぼ横ばいの状態にある。各特別会計においては、より一層、経費の節減を図るとともに、今後とも効果的、効率的な事業執行に努められ、健全な運営を目指していただきたい。昨年12月に確認された新型コロナウイルス感染症は、瞬く間に世界に拡大し、国内においても北海道がいち早く緊急事態宣言を出すなど、住民の生活と経済に大打撃を与え、現在に至つてもなお感染の拡大防止に予断を許さない状況である。

本町の財政は、本年度においても黒字が保たれ、健全性が維持されていることを評価するとともに、令和2年度は、国内経済に大きな懸念があることから、今後においても、国内外の社会経済環境をはじめ、大きな時代の流れを見誤ることなく、確に読み取り、組織の現状分析、改善を持続的に展開しながら、住民福祉の充実と向上を最優先とし取り組んでいただきたい。

監査委員 岩井良道  
監査委員 奥芝理郎